

# 海軍公報

第二千六百十六號

昭和十年十一月十六日(土)

## 海軍大臣官房

### ○辭令

川(各通)

第一課勤務ヲ命ス

海軍中佐 柳本 柳作  
海軍少佐 松村 翠

第二課勤務ヲ命ス

同 土井 美二

第三課勤務ヲ命ス(以上其前海軍省軍務局)

海軍機關大佐 森田 貫一

### ○雜款

○進水

株式會社播磨造船所ニ於テ建造ノ軍艦沖島昨十五日午後一時十五分進水セリ

○旗艦變更

第二艦隊司令長官ハ島海ヨリ妙高ニ、第三艦隊司令長官ハ球磨ヨリ出雲ニ、第一潜水戰隊司令官ハ多摩ヨリ迅鯨ニ、第二水雷戰隊司令官ハ神通ヨリ那珂ニ、第二

潜水戰隊司令官ハ由良ヨリ鬼怒ニ、第二航空戰隊司令官ハ赤城ヨリ加賀ニ、第五水雷戰隊司令官ハ龍田ヨリ夕張ニ旗艦ヲ昨十五日變更セリ

○司令驅逐艦變更

第二十八驅逐隊司令ハ昨十五日司令驅逐艦ヲ蓮ヨリ朝風ニ變更セリ

○着任

新任海軍省醫務局員 海軍軍醫大佐 保利 信明 昨五日着任

○事務所移轉

第二十八潜水隊事務所ヲ佐世保防備隊内ニ設置中ノ處昨十五日軍艦迅鯨ニ移轉セリ

○殘務整理

第六水雷戰隊ノ殘務整理ハ佐世保警備戰隊司令部海軍中佐今和泉喜次郎之ヲ行フ

○赴任

當隊ヨリ轉勤ノ准士官以上ハ吳歸港後退隊赴任セシム(第十五驅逐隊司令)

海軍公報 第二千六百十六號 昭和十年十一月十六日

○艦船所在

△印ハニハホセ  
指定ヲ要セズ

○十一月十六日午前十時調

【横須賀】 對馬、金剛、陸奥、八雲、山口城、五十鈴、

▽鳳翔、鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威、

▽本曾、駒橋、春日、▽那珂

沖風、矢風、峯風、▽羽風、太刀風、帆風、

秋風、▽潮、朧、曙、▽夕暮、▽松風、

朝風、春風、旗風、▽天霧、朝霧

伊六

富士、尻矢、青島、膠州、鳴戶、室戶

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▽嚴島

▽漣、曉、狹霧、▽汐風、夕風、島風、灘風

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、

呂五七、呂五九、▽伊二四、伊二三、

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四

▽掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】(鴨)

【横濱】(隼)

【浦賀】有明

(時雨)、(五月雨)

【館山】澤風△

【大湊】▽波風、神風、野風、沼風

大泊、野島

【吳】

長門、矢矧、韓崎、日向、淺間、勝力、

淀、大鯨、伊勢、扶桑、最上、三隈、

龍驤、▽青葉、衣笠、古鷹、神通、長鯨、

▽天龍、白鷹

夕顔、▽白雪、▽白雲、薄雲、叢雲、浦波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、▽呂六八、呂六三、呂六四、

▽呂二七、呂二八、▽伊二一、伊二三、

▽伊五八、伊五七、伊五六、伊五一、

伊五三、▽伊六九、伊六八、▽伊五四、

伊五五、呂三三

掃七、掃八、掃一〇、▽掃一六、掃一五、

掃一四、掃一三

石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳

(伊七)

【大阪】加古△

▽綾波、敷波

(村雨)、(掃二七)、(鶴)

【神戸】磯波

(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【相生】大井

▽東雲

(沖島)

【玉】吹雪

(掃一八)

【江田内】平戸  
 【佐多】掃九  
 【危川】吾妻  
 【舞鶴】夕霧、初雪  
 呂二六  
 (春雨)、(鴻)  
 【佐世保】加賀、霧島、宇治、口妙高、那智、足柄、  
 迅鯨、川内、榛名、長良、名取、  
 阿武隈、由良、赤城、磐手、北上、  
 八重山、能登呂  
 梨、竹、榎、桃、柳、櫻、楡、口菊月、三日月、  
 夕月、望月、睦月、如月、彌生、卯月、  
 初春、子日、長月、文月、水無月、皐月、  
 疾風、追風、朝風、夕風、逆、蓬、蓼  
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
 呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
 呂六六、呂六五、呂六七、呂六〇、  
 伊五九、伊六三、伊六一、伊六〇、  
 伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、  
 伊七〇  
 敷島、早瀬、知床  
 (白露)  
 【長崎】羽黒  
 【鹿兒島】比叡、常磐  
 比叡、雷、電  
 【馬公】夕張

【鎮海】榎、柿、葦  
 【旅順】藤、薄、葛  
 【青島】若竹、早苗、吳竹  
 【上海】出雲、安宅、保津、球磨  
 梅  
 栗  
 浦風  
 勢多、堅田、熱海  
 鳥羽  
 比良  
 二見  
 劉萱  
 嵯峨  
 【航海中】  
 鶴見 (十月二十四日佐世保發—羅府)  
 洲崎 (九日「ミラ」發—横須賀)  
 鬼怒 (十四日吳發—吳)  
 萩 (十四日吳發—旅順)  
 初霜 (十四日佐世保發—長崎)  
 龍田 (十五日馬公發—佐世保)  
 多摩 (十五日横須賀發—舞鶴)  
 芙蓉、菊 (十五日吳發—舞鶴)  
 芙蓉、朝顔 (十五日馬公發—基隆)  
 初雁、真鶴、千鳥、友鶴 (十五日佐世保發—舞鶴)  
 菱、萱 (十六日鎮海發—佐世保)  
 伊五二 (十六日吳發—舞鶴)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千六百十七號

昭和十年十一月十八日(月)

## 海軍大臣官房

### ○辭令

故海軍中佐山田周枝寡婦

—金六千圓 但死亡者一時賜金 山田 輝子  
—金壹萬圓 但死歿者保護賜金

故海軍航空兵曹長海江田義孝寡婦

—金壹千八百圓 但死亡者一時賜金 海江田 ノブ  
—金五千圓 但死歿者保護賜金

故海軍一等航空兵曹石川吉好寡婦

—金壹千六百圓 但死亡者一時賜金 石川 さよ  
—金參千圓 但死歿者保護賜金

故海軍三等航空兵曹大橋正則父

—金壹千貳百圓 但死亡者一時賜金 大橋 與三郎  
—金參千圓 但死歿者保護賜金

故海軍一等航空兵相原輝三父

—金壹千百圓 但死亡者一時賜金 相原 長平  
—金參千圓 但死歿者保護賜金

右大正二年勅令第九號及大正八年勅令第三百七十一號ニ依リ之ヲ給與ス

故海軍三等兵曹宮崎重信父 宮崎 辰次郎

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五十拾圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百五十拾圓

ヲ賜フ

故海軍二等機關兵曹長野清臣妻 長野 文子

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金七百圓ヲ給與ス

故海軍二等水兵岩屋芳信父 岩屋 佐七

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス

故海軍二等機關兵後藤秀明弟 後藤 末教

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金九百圓ヲ給與ス(以上皆海軍省)

(各通)

第一課勤務ヲ命ス 海軍大佐 水崎 正次郎

第二課勤務ヲ命ス 海軍中佐 星 一男

第三課勤務ヲ命ス 同 泊 滿義

海軍機關少佐 久安 房吉

第三課勤務ヲ命ス(以上皆海軍省教育局)

### ○雜款

海軍公報 第二千六百十七號

昭和十年十一月十八日

一一六九

○總代  
天皇陛下海軍特別演習並ニ陸軍特別大演習御統裁ヲ了  
ラセラレ來二十一日東京へ還幸アラセラルルニ付勅、  
奏任官總代トシテ同日東京驛ニ於テ奉迎スベキ旨左記  
諸官ニ訓令セラレタリ

記  
勅任官總代 海軍少將 塚原二四三  
奏任官總代 海軍大佐 井上 保雄

○旗艦指定  
横須賀警備戰隊司令官ハ本月十五日旗艦ヲ本會ニ指定  
セリ

○着任、退應  
新任 本路部長 海軍少將 太田垣富三郎 本月十五日着任  
前任 同 海軍中將 小野 彌一 同日退應

海軍大尉正七位中原繁一昨十六日死去、昨十七  
日宮崎縣宮崎郡赤江町山吉三五七自宅ニ於テ葬儀  
執行

○訂正  
本月十五日辭令公報號外三〇頁下段海軍大尉蒲原俊郎  
ノ辭令ヲ削除ス

(海軍省人事局)

○艦船所在

指<sup>△</sup>定<sup>△</sup>要<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ズ

○十一月十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、鳳翔

▷木曾、駒橋、春日、▷那珂

沖風、矢風、峯風、秋風、▷潮、朧、曙、▷夕暮、▷松風、朝風、春風、旗風、▷天霧、朝霧

伊六

富士、尻矢、青島、膠州、鳴戶

(鈴谷)、(劍崎)

【長浦】

▷嚴島

▷漣、曉、狹霧、▷沙風、夕風、島風、灘風

呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五八、呂五七、呂五九、▷伊二四、伊二三、▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四

▷伊六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】

(鶴)

【横濱】

(隼)

【浦賀】

有明

【館山】

(時雨)、(五月雨)

【大湊】

▷波風、神風、野風、沼風

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、日向、淺間、吉鷹、勝力、最上、三隈、淀、大鯨、伊勢、長門、扶桑、神通、龍驤、▷青葉、衣笠、▷鬼怒、長鯨、▷天龍、白鷹

夕顔、▷白雲、▷白雲、薄雲、叢雲、浦波

呂一七、▷呂一八、▷呂一九、▷呂五一、▷呂五三、▷呂六八、▷呂六三、▷呂六四、▷呂二七、▷呂二八、▷呂三三、▷伊二一、▷伊二二、▷伊五八、▷伊五七、▷伊五六、▷伊五三、▷伊六九、▷伊六八、▷伊五四、▷伊五五、▷伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▷掃一六、掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、問宮、朝日、襟裳

(伊七)

加古

▷綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

磯波

(伊七二)、(伊七二)、(伊七三)

▷東雲

(沖島)

吹雪

(掃一八)

平戸

【大 阪】

【神 戶】

【和 生】

【玉 子】

【江田内】

【舞鶴】

吾妻△

夕霧△、初雪△

伊五二、呂二六

△初雁、眞禰、千鳥、友鶴

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、△摩名、△長良、川内、△阿武隈、△迅鯨、△妙高、那智、加賀△、山良、赤城、磐手、△北上、八重山、能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、檜、檜、菱、蓼、藜、蓬、△菊月、三月月、夕月、望月、初春、子日、△長月、文月、水無月、皐月、△疾風、追風、△朝風、夕風、△睦月、如月、彌生、卯月、蓮△

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、△呂六〇、△呂六一、△呂六二、△呂六六、△呂六五、△呂六七、△伊六〇、△伊六三、△伊六一、△伊六二、△伊六四、△伊六五、△伊六六、△伊六七、伊七〇

敷島△、早鞆

(白露)

【西戸崎】知床

【長崎】羽黒△

【鹿兒島】△初霜、若葉

△比叡、常磐

【石明灣】電

【馬公】

△夕眼

【基隆】△芙蓉、朝顔

【鎮海】△檜、柿、葎

【旅順】△藤、薄、葛、萩

【青島】

△球磨、△若竹、早苗、吳竹

【上海】△山雲、△安宅、保津

【南京】栗、△浦風、勢多、堅田、熱海

【漢口】鳥羽

【長沙】比良

【重慶】二見

【馬尼拉】劉萱

【廣東】鯉、鹹

【航海中】

鶴見 (十月二十四日佐世保發—羅府へ)

洲崎 (九日「マニラ」發—橫須賀へ)

多摩 (十五日橫須賀發—舞鶴へ)

△葵、菊 (十五日吳發—舞鶴へ)

△羽風、太刀風、帆風 (十六日橫須賀發)

佐多 (十六日廣發—羅府へ)

室戸 (十七日橫須賀發—佐世保へ)

野島 (十七日大湊發—橫須賀へ)

(部内限一頁)

# 海軍公報 第二千六百十八號

昭和十年十一月十九日(火)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第四八八二號  
來二十三日新嘗祭<sup>會</sup>付在京親任官同待遇、勅任官同待遇ハ同日午後五時三十分賢所參集所へ參集スベシ  
服装 正裝 大禮服  
昭和十年十一月十九日  
海軍大臣

## ○雜款

○旗艦指定  
横須賀防備戰隊司令官ハ本月十六日旗艦ヲ嚴島ニ指定セリ  
○司令部指定及變更  
吳防備戰隊司令官ハ昨十八日司令部ヲ白鷹ニ指定、即日吳防備隊ニ變更セリ  
○司令驅逐艦變更

第二十一驅逐隊司令ハ本月十四日司令驅逐艦ヲ初霜ヨリ子日ニ變更セリ

○伊號第六潜水艦行動豫定

地名 着  
横須賀 十二月二十五日 發  
吳 十二月二十三日

○特務艦標裝行動豫定

地名 着  
吳 十二月二十日 發  
タラカン 十二月九日 發  
マニラ 十二月九日 發  
吳 十二月二十一日

○郵便物發送先

伊號第六潜水艦宛  
十二月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀  
其ノ後ハ 吳  
特務艦標裝宛  
自今 吳

海軍公報 第二千六百十八號 昭和十年十一月十九日



○着任及退廳

新任	海軍省人事局 第一課長	海軍大佐	徳永 榮	本月廿日着任
前任	同	同	伊藤 整一	一昨七日退廳
新任	同	同	多田 武雄	同日着任
前任	第二課長	同	與 信一	同日退廳

○退廳

前任 海軍省  
醫務局員 海軍軍醫少將 中野 太郎 昨六日退廳

○歸着

前任海軍技術研究所長海軍造兵中將箕原 勉 滿洲國及  
中華民國出張中ノ處本月十五日歸着セリ

○書類發送先

横須賀防備戰隊司令部宛書類ハ當分ノ間横須賀防備隊  
宛御送付相成度

(横須賀防備戰隊司令部)

○艦船所在

▲印(一)ハホフ  
指定ヲ要セズ

○十一月十九日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、  
高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、鳳翔、  
▷那珂、駒橋、春日、▷木曾

▷沖風、矢風、峯風、秋風、▷潮、鵬、曙、  
▷夕暮、▷松風、朝風、春風、旗風、▷天霧、  
朝霧

伊六  
富士、尻矢、青島、膠州、鳴戸、洲崎  
(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▷巖島

▷漣、曉、狹霧、▷汐風、夕風、島風、灘風、  
呂五四、呂五五、呂五六、▷呂五八、  
呂五七、呂五九、▷伊二四、伊二三、  
▷伊二、伊一、伊三、▷伊五、伊四、  
▷掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】(鴨)

【横濱】(隼)

【浦賀】有明

【館山】(時雨)、(五月雨)

【大湊】▷波風、神風、野風、沼風

大泊

【吳】

▷矢矧、韓崎、日向、淺間、古鷹、最上、  
三隈、淀、大鯨、伊勢、長門、扶桑、  
神通、龍驤、▷青葉、衣笠、▷鬼怒、長鯨、  
▷天龍、白鷹、大井

夕顔、▷白雲、▷白雲、薄雲、叢雲、浦波、  
呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
呂五三、▷呂六八、呂六三、呂六四、  
▷呂二七、呂二八、呂三三、▷伊二一、  
伊二二、▷伊五八、伊五七、伊五六、  
伊五三、▷伊六九、伊六八、▷伊五四、  
伊五五、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▷掃一六、  
掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳  
(伊七)

▷綾波、敷波  
(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【大阪】

▷加古

【神戸】

磯波  
(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【相生】▷東雲

(沖島)

【玉】

吹雪  
(掃一八)

【江田内】

平戸

海軍公報 第二千六百十八號 昭和十年十一月十九日

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕霧、初雪

伊五二、呂二六

初雁、真鶴、千鳥、友鶴

(春雨)、(鳩)

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登、由良、赤城、磐手、榛名、長良、川内、阿武隈、迅鯨、妙高、那智、加賀

北上、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、檜、菱、蕙、蓬、菊、月、三日、夕月、望月、疾風、追風、朝風、夕風、初春、子日、睦月、如月、彌生、卯月、長月、文月、水無月、皐月、蓮

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三三、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊七〇

敷島、早瀬

(白露)

【四戸崎】

知床

【長崎】

羽黒、若葉、初霜、比叡、常磐

【有明灣】

響、雷、電

【基隆】

芙蓉、朝顔

【鎮海】

檜、柿、葎

【旅順】

薄、蕙、葵、菊、萩

【青島】

球磨

【上海】

若竹、早苗、吳竹

【南京】

出雲、安宅、保津

【九江】

粟

【漢口】

浦風

【長沙】

勢多、堅田、熱海

【宜昌】

鳥羽

【重慶】

比良

【馬尼拉】

二見

【廣東】

劉萱、嵯峨

【航海中】

鶴見

【佐多】

(十月二十四日佐世保發、羅府)

【室戸】

(十六日廣發、羅府)

【野島】

(十七日廣發、羅府)

【勝力】

(十七日大湊發、橫須賀)

【夕張】

(十八日吳發、巴拉オ)

【梅嶺】

(十八日馬公發、福州)

【隱戸】

(十八日上海發、南京)

【青島】

(十九日旅順發、青島)

(部内限一頁、同附録三頁)

# 海軍公報

第二千六百十九號

昭和十年十二月二十日(水)

## 海軍大臣官房

### ○ 辭令

舞鶴要港部軍法會議附海軍錄事 谷 敏

橫須賀鎮守府軍法會議附ヲ命ス

舞鶴要港部附海軍書記 谷 敏

橫須賀鎮守府附ヲ命ス

歸朝ヲ命ス 海軍技手 大橋 三男

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手 同 下里 紋一郎

海軍艦政本部造兵監督助手ヲ命ス

米國へ出張ヲ命ス 同 落合 新作

歸朝ヲ命ス 同 濱田 義夫

海軍艦政本部造兵監督助手 同 濱田 義夫

獨國へ出張ヲ命ス

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手 同 鈴木 政義

兼海軍艦政本部附ヲ命ス

兼海軍艦政本部勤務同

兼海軍艦政本部造船監督助手ヲ命ス

英國へ出張ヲ命ス

歸朝ヲ命ス 同 多治見 一郎

舞鶴要港部附同

兼海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍艦政本部勤務同

兼海軍艦政本部造船監督助手ヲ命ス

英國へ出張ヲ命ス

歸朝ヲ命ス 同 仲井 繁二

舞鶴要港部附同

舞鶴要港部附ヲ命ス

海軍技術研究所附同 和泉 誠一

兼海軍艦政本部附ヲ命ス

海軍艦政本部勤務同 橋川 愛壽

海軍艦政本部造船監督助手ヲ命ス

英國へ出張ヲ命ス

歸朝ヲ命ス 同 多治見 一郎

舞鶴要港部附同 仲井 繁二

橫須賀海軍工廠勤務ヲ命ス 同 神谷 亨

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス(以上計海軍省)

第二課勤務海軍少佐 田村 禮三

兼第一課勤務ヲ命ス

第二課兼第一課勤務同 長 屋 茂

兼第一課勤務ヲ免ス(以上計海軍省人事局)

海軍機關中佐 榎本 隆一郎

海軍公報 第二千六百十九號 昭和十年十一月二十日

一一七七

(各通)

同 渡邊 伊三郎  
同 横田 俊雄

第二課勤務ヲ命ス(其前海軍省軍需局)

海軍機關少佐 前田 廣吉  
海軍機關大佐 嘉納 吉彦

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ(其前海軍航空本部)

第一課勤務ヲ命ス 海軍中佐 山本 六郎

第三課勤務ヲ命ス 同 佐々木 靜吾

第一課兼第二課勤務ヲ命ス(以上其前水路部)

海軍大尉 大東 信市  
海軍大佐 栗林 今朝吉

水路部第一課長缺員申同職代理ヲ命シ置候處差免ス(其前同)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第十八潜水隊司令ハ一昨十八日司令潜水艦ヲ伊號第五十四潜水艦ヨリ伊號第五十五潜水艦ニ變更セリ

○司令水雷艇變更

第二十一水雷隊司令ハ一昨十九日司令水雷艇ヲ初雁ヨリ千鳥ニ變更セリ

○着任

新任 水路部 第一課長 海軍大佐 下坊 定吉 本月其日着任

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、鳳翔、

那珂、駒橋、春日、木曾

沖風、矢風、峯風、秋風、潮、朧、曙、

夕暮、松風、朝風、春風、旗風、天霧、

朝霧

伊六

富士、尻矢、青島、膠州、鳴戸、洲埼、野島

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

嚴島

漣、曉、秩霧、沙風、夕風、島風、灘風、

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、伊二四、伊二三、

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四、

掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四、

【石川島】

(鴨)

【横濱】

(集)

【浦賀】

有明

【館山】

(時雨)、(五月雨)

【大湊】

波風、神風、野風、沼風、

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、日向、淺間、古鷹、最上、

三隈、淀、大鯨、伊勢、長門、扶桑、

神通、龍驤、青葉、衣笠、鬼怒、長鯨、

天龍、白鷹、大井

夕顔、白雪、白雲、薄雲、叢雲、浦波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂六八、呂六三、呂六四、

呂二七、呂二八、呂三三、伊二一、

伊二二、伊五八、伊五七、伊五六、

伊五三、伊六九、伊六八、伊五五、

伊五四、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、掃一六、

掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳

【大阪】

(伊七)

加古、綾波、敷波

【神戸】

磯波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【相生】

(伊七二)、(伊七二)、(伊七三)

【玉】

(吹雪)

【江田内】

(掃一八)

平戸

海軍公報 第二千六百十九號 昭和十年十一月二十日

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕霧、初雪、伊五二、呂二六

千鳥、初雁、真鶴、友鶴

(春雨)、(鴻)

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登呂、由良、赤城、磐手、檫名、長良、川内、阿武隈、迅鯨、口妙高、那智、加賀

北上、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菱、董、蓼、蓬

菊月、三日月、夕月、望月、疾風、追風、朝風、夕風、初春、子日、睦月、如月、彌生、卯月、長月、文月、水無月、皐月、逆

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、伊五九、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊七〇

敷島、早鞆

(白露)

【長崎】

羽黑、初霜、若葉

芙蓉、朝顔

【基隆】

基隆、芙蓉、朝顔

鎮海、檜、柳、葦

旅順、藤、蕩、葛、葵、菊

大湫沖、萩

青島、球磨、若竹、早苗、吳竹

上海、出雲、保津

南京、梅、栗

九江、浦風

漢口、勢多、堅田、熱海

長沙、鳥羽

宜昌、比良

重慶、二見

馬尾、夕張

劉萱、雙峨

廣東

航海中

鶴見、十月二十四日佐世保發一羅府へ

羽風、太刀風、帆風、十六日横須賀發

佐多、十六日廣發一羅府へ

室戸、十七日横須賀發一佐世保へ

勝力、十八日吳發一「パオ」へ

安宅、十九日上海發一南京へ

比叡、雷、電、十九日志布志發一横須賀へ

常磐、十九日有明灣發一佐世保へ

隱戸、十九日旅順發一青島へ

知床、十九日西戶崎發一馬公へ

(號外六頁、部内限二頁)

# 海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和十年十二月二十日(水)

令 達

官房第四八八七號

昭和十年官房第...  
ニテ本館...  
ニテ本館...

當分ノ間防寒被服ノ貸與並ニ著用方左ノ通定ム

昭和十年十一月二十日

海 軍 大 臣

海軍軍人軍屬ニシテ左記區分ニ該當スル場合ニハ海軍給與令施行細則第八十五條及同第九十六條ノ規定ニ拘ラズ別表ニ依リ普通防寒被服又ハ特製防寒被服ヲ貸與スルコトヲ得  
防寒被服ノ著用方ニ付テハ所在首席指揮官之ヲ定ム

## 普通防寒被服貸與區分表

地 域	艦船部隊	準 備 標 準	貸 與 期 間
滿 洲 國	部 隊	定員ニ對シ其ノ必要數	十一月一日ヨリ四月三十日迄 但シ北緯四十二度以北ニ在ル
滿 洲 國 領 沿 岸 艦 船	艦 船	一、准士官以上及艦船乗組ノ文官ニ對シテハ其ノ必要數 二、下士官、兵及艦船乗組ノ艦營傭人ニ對シテハ外套、帽及靴ニ限り定	

海軍公報 號外



滿洲國 露領 樺太沿岸	滿洲國	地域	上海及揚子江流域	關東州 大湊	支那山東省以北 朝鮮又ハ其ノ沿岸 北海道及千島
艦船部隊			艦船部隊		
艦船	標準	準備標準	特製防寒被服貸與區分表		
貸與期間	十二月一日ヨリ四月三十日迄				
一、准士官以上及文官ニ對シテハ其ノ必要數 二、下士官、兵及艦營備人ニ對シテハ	定員ニ對シ其ノ必要數	一、准士官以上及艦船乗組ノ文官ニ對シテハ外套及帽ニ限リ定員數ノ二分ノ一、其ノ他ノ品種ハ其ノ必要數 二、下士官、兵及艦船乗組ノ艦營備人ニ對シテハ外套、帽及靴ニ限リ定員數ノ四分ノ一、其ノ他ノ品種ハ其ノ必要數	員數ノ二分ノ一、其ノ他ノ品種ハ其ノ必要數 三、雇員備人(艦營備人ヲ除ク)ニ對シテハ定員數ノ二分ノ一 同右但シ陸上部隊ハ下士官及兵ニ對シテハ其ノ必要數		
	艦船部隊ハ必要ニ應ジ貸與				

支那河北省 關東州 千島		外套、帽、厚手袋及靴ニ限り定員數ノ二分ノ一、其ノ他ノ品種ハ其ノ必要數	必要ニ應ジ貸與
關東州	部隊	一、准士官以上ニ對シテハ定員數ノ二分ノ一 <small>(但シ關東州陸上部隊以外ノ本表該當地域ニ於テ使用)</small>	
<p>附則</p> <p>昭和九年官房第五二二八號ハ之ヲ廢止ス (續)</p> <p>(參照) 昭和九年官房第五二二八號ハ防寒被服貸與並ニ著用方ノ件ナリ (昭和九年十二月六日海軍公報號外)</p>			
<p>別表</p> <p>(普通防寒被服)</p>			
品名	準毎一人 個數	貸與スベキ者	品質製式
准士官以上防寒外套	一個	一、准士官以上	表裏絨、胴裏及袖裏、アストラカン、襟裏及袖折返部毛ラッコ、左右腰部ニ劍帶各一個及表地ト同地質ノ胴締帶ヲ附シ袖先ニ黃線一條ヲ附ス 鈕釦ハ金色金屬一號形

海軍公報 號外

品名	毎一人 準備数	貸與スベキ者	品質	製式
准士官以上防寒帽	一個	二、艦船乗組ノ文官	表裏絨、頭部裏「フラネル」、鹿裏、垂裏、後當裏ニハ毛ラツコヲ附ス 前章ハ准士官以上軍帽前章ニ同ジ	
下士官兵防寒外套	一個	一、下士官及兵 二、艦船乗組ノ艦營傭人 三、守衛長、守衛、舟夫 長、舟夫	准士官以上防寒外套ニ同ジ但シ袖先ニ黄線ヲ附セズ鈕釦ハ黒角製トス 准士官以上防寒帽ニ同ジ但シ前章ハ鍔ニ櫻花ヲ配シタル銀色金屬トス	
下士官兵防寒帽	一個	一、准士官以上及艦船乗組ノ文官(襟卷及手袋ノミ)	海軍給與令施行細則第十七表毛織襟卷ニ同ジ	
毛織襟卷	一個	二、下士官及兵	紺色毛糸メリヤス織	
毛織襦袢	一個	三、艦船乗組ノ傭人	同 右	
毛織袴下	一個	四、守衛長、守衛、舟夫長、舟夫(半長靴ノミ)	鼠色毛糸製	
毛織手袋	二組		紺色毛糸製	
毛織靴下	二組		海軍給與令施行細則第十七表半長靴ニ同ジ	
半長靴	一組	一、艦船部隊ニ起臥スル軍人軍屬	海軍給與令施行細則第十七表貸與毛布ニ同ジ	
布	二個		海軍給與令施行細則第十七表貸與毛布ニ同ジ	
備考	一、本表ノ防寒被服ハ海軍給與令施行細則ノ規定ニ依ル防寒服ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得			
(特製防寒被服)				

毛	特製 當番 外套	一個	一、艦船部隊ニ起臥スル 軍人軍屬	海軍給與令施行細則第十七表ノ貸與毛布ニ同ジ
	特製 防寒 長靴	一組	一、衛兵及上甲板當直員	下士官特製防寒外套ニ當番外套ノ如ク肩掛ヲ 附シタルモノ
	特製 毛織 靴下	二組	三、滿洲國ニ於ケル部隊 勤務ノ軍屬	筒ハフエルト一重、筒ノ下部ヨリ足先迄フエル ト二重、敷皮フエルト二枚合セテ用フ、底及甲 ノ周圍一部ハ半靴ノ製式ニ準ジ革製トス、底ハ ゴム板ヲ附ス。尙黒色ホツクス革製長靴ヲ以テ 代用スルコトヲ得
	特製 薄手 袋	二組	二、艦船乗組ノ軍屬	紺色毛糸製
	特製 厚手 袋	一組		鼠色毛糸製
	特製 防寒 袴	一個	一、軍人	表裏絨、裏ニ白色毛皮ヲ附シ指ノミ分レタル モノ、肩ヨリ掛クベキ紐ヲ以テ連結ス
	特製 毛織 袴下	一個		表裏絨、裏フラネル及毛皮、長脛ノ中央迄
	特製 毛織 襦袢	一個		同 右
	下士官兵特製防寒帽	一個	三、滿洲國ニ於ケル部隊 勤務ノ雇員傭人	准士官以上ハラクダ色、下士官兵ハ紺色毛糸メ リヤス絨
	下士官兵特製防寒外套	一個	一、下士官及兵 艦船乗組ノ艦營傭人	准士官以上特製防寒外套ニ同ジ但シ袖先ニ黃線 ヲ附セズ鈕釦ハ黒角製トス
	准士官以上特製防寒帽	一個	二、艦船乗組又ハ滿洲國 ニ於ケル部隊勤務ノ 文官	准士官以上特製防寒帽ニ同ジ但シ鹿裏、垂裏及後當 裏ニハ毛皮ヲ附ス
	准士官以上特製防寒外套	一個	一、准士官以上 艦船乗組又ハ滿洲國 ニ於ケル部隊勤務ノ 文官	准士官以上防寒外套ニ同ジ但シ胸裏、袖裏、襟 裏及袖折返部ニハ毛皮ヲ附ス

0697

海軍公報 號外

備考

一、本表ノ防寒被服ハ従前ノ制式ニ依ル特製防寒被服ヲ以テ充ツルコトヲ得

六

# 海軍公報

第二千六百二十號

海軍大臣官房

昭和十年十一月二十一日(木)

## ○通牒

官房第三八八號ノ二

昭和十年十一月二十一日

海軍次官

關係所屬長官殿

滿洲國建國功勞章ノ受領及佩用願出ニ

關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ本年一月三十日官房第三八八號ヲ以テ及通牒置候處右様式注意事項中第四號ヲ左記ノ通訂正相成候

記

四、官位勳功爵氏名ハ昭和九年三月一日現在トス

## ○辭令

(各通)

海軍中將 出光 萬兵衛  
海軍主計少將 佐々木 重藏

海軍生徒採用試験委員ヲ命ス

(各通)

海軍少將	井澤 春馬
同	高橋 伊望
同	御宿 好
海軍大佐	金澤 正夫
同	丸茂 邦則
同	徳永 榮
同	保科 善四郎
同	白石 萬隆
同	金子 繁治
海軍中佐	志波 國彬
同	堀内 茂忠
同	泊 滿義
同	星 一男
海軍少佐	田口 太郎
同	宮壽 俊男
海軍機關大佐	土川 善八木

海軍學生銓衡委員ヲ命ス	海軍大佐	福留	繁
海軍學生銓衡委員ヲ命ス	海軍大佐	徳永	榮
同	同	多田	武雄
海軍中佐	海軍中佐	岡田	次作
同	同	富永	昌三
海軍少佐	海軍少佐	長屋	茂
(各通)	海軍軍醫大佐	豊田	實
同	同	保利	信明
同	同	水野	虎吉
同	同	鈴木	忠次
同	同	吉田	憲吉
海軍軍醫中佐	海軍軍醫中佐	大久保	信
海軍武官任用委員ヲ命ス	海軍中佐	小暮	軍治
同	同	辻正	保
同	同	池田	人
同	同	石原	二郎

---

(各通)	海軍機關大佐	和住	篤太郎
海軍機關中佐	海軍機關中佐	日高	爲範
海軍機關少佐	海軍機關少佐	久安	房吉
海軍機關大尉	海軍機關大尉	平松	義雄
海軍軍醫大佐	海軍軍醫大佐	保利	信明
同	同	菅田	直樹
海軍軍醫中佐	海軍軍醫中佐	大久保	信
海軍軍醫少佐	海軍軍醫少佐	古谷	悟太郎
海軍主計少佐	海軍主計少佐	山田	壽吉
同	同	石淵	知定
同	同	森	寛
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス	海軍軍醫大佐	保利	信明
同	同	田川	資造
同	同	石原	誠之
同	同	吉田	憲吉
海軍軍醫中佐	海軍軍醫中佐	沓掛	晋
同	同	前田	健造
同	同	島崎	貞
海軍軍醫少佐	海軍軍醫少佐	福本	正榮
同	同	細川	才市郎

同 湯淺 達三  
 海軍軍醫學生藥劑學生主計學生及海軍造船學生造機  
 學生造兵學生同候補者並生徒志願者身體検査委員ヲ  
 命ス

(各通)

海軍軍醫大佐 原 隼人  
 同 石黒 芳雄  
 海軍豫備員志願者身體検査委員ヲ命ス

海軍軍醫大佐 田川 資造

海軍軍醫中佐 長谷川 静一

同 大久保 信

同 本間 正人

同 島崎 貞

同 結城 準

同 吉田 一

同 田村 明

同 三宅 正一

同 木庭 保喜

海軍軍醫少佐 岡崎 忠道

同 中村 博郷

海軍軍醫大尉 田中 強

海軍豫備生徒志願者體格検査委員ヲ命ス

(各通)

海軍少將 片桐 英吉  
 海軍大佐 多田 武雄  
 海軍中佐 内田 市太郎  
 同 富永 昌三  
 同 荒木 敬吉  
 同 星 一男  
 海軍少佐 松浦 義  
 海軍軍醫大佐 原 隼人  
 海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

(各通)

海軍中佐 粟屋 眞  
 同 淡口 蒙介  
 海軍少佐 玉井 美二  
 海軍造機少佐 若林 幸二  
 購買名簿調査委員會委員ヲ命ス  
 海軍中佐 佐藤 壽  
 購買名簿調査委員會委員ヲ免ス  
 海軍大佐 若林 清作  
 同 丸茂 邦則  
 同 多田 武雄  
 海軍中佐 岡田 次作  
 同 相徳 一郎



<p>(各通)</p> <p>同 泊 滿 義</p> <p>同 横 井 俊 之</p> <p>同 星 一 男</p> <p>海軍少佐 太 田 信 之 輔</p> <p>同 鹿 岡 圓 平</p> <p>海軍機關大佐 多 田 力 三</p> <p>海軍機關少佐 久 安 房 吉</p> <p>海軍軍醫大佐 保 利 信 明</p> <p>恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ命ス 海軍中佐 大 野 竹 二</p> <p>恩賜研學資金受賞者銓衡委員ヲ免ス 海軍大佐 多 田 武 雄</p> <p>同 保 科 善 四 郎</p> <p>(各通)</p> <p>海軍中佐 佐 藤 壽</p> <p>海軍少佐 鈴 木 光 信</p> <p>同 田 村 禮 三</p> <p>同 鹿 岡 圓 平</p> <p>海軍軍事普及部委員ヲ命ス 海軍中佐 大 野 竹 二</p> <p>海軍軍事普及部委員ヲ免ス</p>	<p>(各通)</p> <p>東京軍法會議判士ヲ免ス 同 海軍中佐 久 重 一 郎</p> <p>同 池 田 人</p> <p>海軍少佐 川 崎 進</p> <p>同 松 原 明 夫</p> <p>(各通)</p> <p>東京軍法會議判士ヲ命ス(以上註記海軍省)</p> <p>横須賀海軍經理部部員 海軍主計少佐 大 和 田 勉</p> <p>艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス 同 奧 田 司</p> <p>艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上註記海軍省經理局支出官)</p> <p>海軍技師 増 本 大 吉</p> <p>在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 同 西 本 本 造</p> <p>在福岡首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上註記海軍航空本部)</p>
---	---

○ 雜 款

○總代變更

本月十八日本欄總代中勅任官總代ハ左記ニ變更セラレ  
タリ

海軍少將 高須 四郎

○司令驅逐艦變更  
第十驅逐隊司令ハ本月十八日司令驅逐艦ヲ漣ヨリ曉ニ  
變更セリ

○米國特務艦ゴールド、スター來航豫定

地名	着	發
三池	十二月三日	十二月五日
長崎	五日	七日
横濱	十日	十四日

○着任、退應

新任 海軍經理 海軍主計少將 佐々木重藏 本月六日着任  
前任 學校長 海軍主計中將 池邊安雄 同日退應

○退應

前任 海軍航空本部 海軍少將 佐藤 三郎 本月六日退應  
技術部長

○宿所

水路部長 海軍少將 太田垣富三郎 宅  
東京市赤坂區青山南町五丁目三十五番地

○事務所設置  
沖島艦裝具事務所ヲ兵庫縣赤穂郡相生町株式會社播磨  
造船所構内ニ設置シ一昨十九日ヨリ事務ヲ開始セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、  
高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、▽鳳翔、  
▽那珂、駒橋、春日、▽木曾、比叡

沖風、矢風、峯風、秋風、▽潮、隴、曙、  
▽夕暮、▽松風、朝風、春風、旗風、▽天參、  
朝霧

伊六  
富士▲、尻矢、青島、膠州、鳴戸、洲崎、野島

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

▽嚴島  
▽曉、漣、狹霧、▽汐風、夕風、島風、灘風、  
▽響、雷、電

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、  
呂五七、呂五九、▽伊二四、伊二三、  
▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四、  
▽掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】

(集)

【横濱】

(集)

【浦賀】

有明  
(時雨)、(五月雨)

【館山】

澤風▲

【大田渡】

▽波風、神風、野風、沼風

【吳】

大泊  
矢矧、韓崎、日向▲、淺間、古鷹、最上、  
三隈、淀、大鯨、伊勢、長門▲、扶桑、  
神通、龍驤、▽青葉、衣笠、▽鬼怒、長鯨、  
▽天龍、▽白鷹、大井

夕顔、▽白雪、▽白雲、薄雲、叢雲、浦波  
呂一七▲、呂一八▲、呂一九▲、呂五一▲、  
呂五三▲、▽呂六八、呂六三、呂六四、  
▽呂二七、呂二八、呂三三、▽伊二一、  
伊二二、▽伊五八、伊五七、伊五六、  
伊五三、▽伊六九、伊六八、▽伊五五、  
伊五四、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▽掃一六、  
掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、問宮、朝日

(伊七)

【大阪】  
加古▲  
▽綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【神戸】

磯波

【相生】

▽東雲  
(伊七二)、(伊七三)、(伊七三)

【相模】

(沖島)

【玉】

吹雪  
(掃一八)

【江田内】

平戸 吾妻、多摩、夕霧、初雪

伊五二、呂二六

伊千鳥、初雁、真鶴、友鶴

(春雨)、(鴻)

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登呂、由良、赤城、磐手、榛名、長良、川内、阿武隈、迅鯨、妙高、那智、加賀

北上、八重山、常磐

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菱、莖、蓼、蓬

朝風、夕風、初春、子日、睦月、如月、卯月、彌生、長月、文月、水無月、皐月

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、呂六七、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊七〇

敷島、早稲、室戸

(白露)

【長崎】

初霜、若葉

馬公、羽風、太刀風、帆風

基隆、芙蓉、朝顔

鎮海、榆、柿、葦

旅順、葵、菊

塘沽、萩

青島、球磨

若竹、早苗、吳竹

隱戸

上海、田雲、保津

南京、梅、栗

九江、浦風

漢口、勢多、堅田、熱海

長沙、鳥羽

宜昌、比良

重慶、二見

馬尾、劉萱

廣東、嵯峨

羅府、鶴見

航海中 (十六日廣發—羅府へ)

佐多 (十八日吳發—「バラオ」へ)

勝力 (十九日上海發—南京へ)

安宅 (十九日西戶崎發—馬公へ)

知床 (二十日旅順發—吳へ)

藤、薄、葛 (二十日吳發—「タラカン」へ)

襟裳 (二十一日馬尾發—馬公へ)

夕張 (二十一日馬尾發—馬公へ)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千六百二十一號

海軍大臣官房

昭和十年十二月二十二日(金)

## ○週牒

官房第四九四六號

昭和十年十二月二十二日

海軍次官

各關係廳長殿

### 麵麩食支給方法改正ニ關スル件通牒

海軍兵食ニ於ケル麵麩食ハ明治十五年脚氣豫防對策ノ一手段トシテ採用シタルニ其ノ端ヲ發シ明治二十三年糧食ノ現品給與ノ制度確立スルヤ主食品ニ加ヘラレ毎  
日之ヲ攝取セシメシガ其ノ後補給及嗜好等ノ關係ヨリ  
數次ノ改正ニテ供給回數ヲ減少セラレシモ脚氣ノ發生  
豫防及保健上偉大ナル効果ヲ認メラレ今日ニ至レル次  
第ニ有之候然ルニ此ノ間屢々兵員ノ嗜好ニ適セザルヲ  
理由トシテ之ガ廢止ヲ希望スル意見ヲ見ルニ至リシモ  
麵麩ヲ攝取セザルヲ以テ得意トスルガ如キ弊アルハ論  
外トシ其ノ品質加味品副食品ニ於ケル缺陷取扱上ノ不

備等ニ相當ノ改良ヲ加フレバ嗜好ニ適セシムルコト可  
能ナルベキヲ認メ昭和二年官房第二九一號ノ二通牒ノ  
通豫算ノ許ス範圍ニ於テ特ニ出來得ル限りノ改善ヲ加  
ヘ獎勵ノ手段ヲ講ジ來レルガ麵麩嫌惡ノ風ハ依然トシ  
テ熄マザル有様ニシテ又一方近年營養化學ノ著シキ進  
歩ニ依リ糧食給與モ著シク改善セラレ白米ハ一部胚芽  
米トナリ麵麩食ヲ強制セザルモ脚氣豫防上懸念ナキニ  
至リ本年聯合艦隊ニ於テハ特ニ生麵麩ヲ全部米麥食ニ  
換給實驗セシガ其ノ成績良好ニシテ其ノ他ノ部隊ニ於  
テモ大勢ニ於テ廢止ヲ希望スルノ現狀ニ有之候  
以上ノ如ク麵麩食ハ時世ノ變遷ニ依リ今日ニ於テハ強  
テ之ヲ支給スルノ必要度乏シキニ至レルモ之ガ全廢ハ  
給養上若干ノ不便ヲ生ズルノミナラズ尙慎重攻究ヲ要  
スル點アルヲ以テ先ヅ之ガ強制支給ノ制ノミヲ廢シ狀  
況ニ依リ嗜好ニ應ジ適宜米麥ニ換給ノ途ヲ開キ以テ實  
狀ニ適スル如ク爲ヌヲ時宜ニ適シタルモノト認メ兵食  
研究調査委員會ノ決議ニ基キ今般達第四百一十一號ヲ以

海軍公報 第二千六百二十一號

昭和十年十一月二十二日

一一八九

テ海軍給與令施行細則中改正ヲ見タル次第ニ付必要ニ  
應ジテハ適宜麵麩食ヲ支給シ兵員ノ保健榮養ニ留意シ  
給養ノ目的ヲ達成スル様指導方可能御取計相成度

○ 辭 令

海軍中佐 松田 千秋  
海軍學生銓衡委員ヲ命ス(計三回海軍省)

第一課勤務ヲ命ス(計三回海軍省軍需局)  
海軍中佐 黒田 麗

驅逐艦吹雪ニ要スル經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任  
出納官吏ヲ命ス  
海軍主計大尉 堀 俊藏

驅逐艦磯波ニ要スル經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任  
出納官吏ヲ命ス  
海軍主計中尉 小林 寛一

驅逐艦浦波ニ要スル經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任  
出納官吏ヲ命ス(以上計三回海軍省經理局支出官)  
海軍主計少尉 伊藤 博

(各通)  
海軍少佐 中島 傳  
海軍大尉 宇都 米二

海軍機關中佐 古野 博  
海軍機關少佐 安田 收藏

總務部第一課勤務ヲ命ス  
教育部勤務ヲ命ス  
海軍少佐 木田 達彦  
海軍機關大佐 鉢立 金矢

總務部兼技術部勤務ヲ命ス  
同 平田 周二  
在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ  
技術部勤務ヲ命ス  
海軍機關中佐 鈴木 師

(各通)  
同 齋藤 秀彦  
海軍機關少佐 東嶋 嘉一  
在名古屋首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 田尻 彌男  
自今在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(出張地方  
太田)

同 植松八十五郎  
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍主計中佐 岡本 正治  
總務部第二課兼第一課勤務ヲ命ス(以上計三回海軍航  
空本部)

○雜款

○旗艦指定

吳警備戰隊司令官ハ一昨二十日旗艦ヲ長鯨ニ指定セリ

○司令驅逐艦變更

第十九驅逐隊司令ハ昨二十一日司令驅逐艦ヲ一時綾波ヨリ浦波ニ變更セリ

○特務艦洲埼行動豫定

地名	着	發
横須賀	十二月六日	十二月四日
德山	九日	八日
吳山	十一日	十日
德山	十五日	十三日
舞鶴	十九日	十七日
德山	二十二日	二十一日
吳山	二十八日	二十五日
横須賀		

○郵便物發送先

特務艦洲埼宛	發送先
十二月三日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
同 十二月二日迄ニ	徳山
同 十二月一日迄ニ	新舞鶴
同 十二月十六日迄ニ	同

同 二十日迄ニ  
同 二十四日迄ニ  
其ノ後ハ

徳山  
吳山  
横須賀

海軍中尉從七位草野嘉治昨二十一日死去、本二十  
二日午後四時ヨリ横須賀市山王町良長院ニ於テ告  
別式執行

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十二日午前十時調

【横須賀】

對馬、金剛、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、高橋、摩耶、愛宕、神威、口山城、口鳳翔、

▷那珂、駒橋、春日、▷木曾、比叡

沖風、矢風、峯風、秋風、口潮、臘、曙、

▷夕暮、口松風、朝風、春風、旗風、口天霧、

朝霧

伊六

富士、尻矢、青島、膠州、鳴戶、洲崎

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▷嚴島

▷曉、漣、狹霧、口沙風、夕風、島風、灘風、

▷響、雷、電

呂五四、呂五五、呂五六、口呂五八、

呂五七、呂五九、口伊二四、伊二三、

口伊二、伊一、伊三、口伊五、伊四

口掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】(鴨)

【横濱】(隼)

【浦賀】有明

(時雨)、(五月雨)

【館山】澤風

【大湊】▷波風、神風、野風、沼風

【吳】

大泊

矢矧、韓崎、日向、淺間、古鷹、最上、

三隈、淀、大鯨、伊勢、長門、扶桑、

神通、龍翻、▷青葉、衣笠、▷鬼怒、

▷長鯨、天龍、白鷹、大井

夕顔、口白雪、口白雲、叢雲、口浦波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、口呂六八、呂六三、呂六四、

口呂二七、呂二八、呂三三、口伊二一、

伊二二、口伊五八、伊五七、伊五六、

伊五三、口伊六九、伊六八、口伊五五、

伊五四、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、口掃一六、

掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、間宮、朝日

(伊七)

【大阪】加古

綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【神戸】磯波

(伊七一)、(伊七二)、(伊七三)

【相生】東雲

(沖島)

【玉】吹雪

(掃一八)



【江田内】 平戸  
【舞鶴】 吾妻、多摩  
夕霧、初雪

伊五二、呂二六  
千鳥、初雁、真鶴、友鶴  
(春雨)、(鵜)

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登呂、  
由良、赤城、碧手、椋名、長良、川内、  
阿武隈、迅鯨、妙高、那智、加賀

北上、八重山、常磐

梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菱、菫、蓼、蓬、  
朝風、夕風、子日、初春、陸月、如月、  
卯月、彌生、長月、文月、水無月、早月、  
蓮

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、  
伊五九、伊六三、伊六一、伊六二、  
伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、  
伊七〇

敷島、早稲

【長崎】

羽黒、初霜、若葉

【馬公】 夕張

鎮海 羽風、太刀風、帆風

旅順 檜、柿、葦

塘沽 球磨、菊  
青島 若竹、早苗、吳竹

【上海】 隱戸、保津

【南京下流】 浦風、栗

南京 梅、勢多、墜田、熱海

漢口 鳥羽、比良

宜昌 二見、磯峨

重慶 鶴見

廣東 羅府

【航海中】 佐多 (十六日廣發—羅府へ)  
勝力 (十八日吳發—「バラオ」へ)  
知床 (十九日西戸橋發—馬公へ)

藤、薄、葛 (二十日旅順發—吳へ)  
襟裳 (二十日吳發—「タラカン」へ)

芙蓉、朝顔 (二十一日基隆發—高雄へ)

野島 (二十一日馬尾發—高雄へ)  
室戸 (二十一日横須賀發—吳へ)  
(二十二日佐世保發—吳へ)

(號外一頁、部内附一頁、同號外二頁)

0710

海軍公報 號外

昭和十年十二月二十二日(金)  
海軍大臣官房

○勅語

官房第四九三四號

十一月十二日海軍特別演習御講評後左ノ勅語ヲ賜ハ  
リタリ

昭和十年十一月二十一日

海軍大臣

朕親シク陸軍特別大演習及海軍特別演習ヲ統監シ將  
兵ノ志氣振ヒ成績概ネ良好ナルヲ視深ク之ヲ嘉ミス  
惟フニ現下ノ情勢ハ朕カ陸海軍ノ精強ニ須ツモノ多  
シ汝將兵力ヲ戮ハセ心ヲ一ニシテ益々練武ニ精進シ  
以テ朕カ股肱タルノ倚信ニ對ヘヨ

海軍公報 號外

# 海軍公報

第二千六百二十二號

海軍大臣官房

昭和十年十一月二十五日(月)

## ○辭令

○昭和十年十一月二十五日

任海軍技手

大田 實

給六級俸

山本 久一

任海軍技手

海軍書記 富永貞一郎

給七級俸

給四級俸(計四名海軍省)

海軍書記 川原光太郎

兼海軍艦政本部造船造兵監督書記ヲ免ス

海軍艦政本部勤務同 新野 時治

兼海軍艦政本部造船造兵監督書記ヲ命ス

吳海軍工廠勤務ヲ命ス 海軍技手 大田 實

同 山本 久一

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

鐵道省事務官 齋藤 義八

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金九拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

同 三輪 眞吉

海軍省事務ヲ囑託ス(以上計四名)

海軍主計中尉 中村 利明

驅逐艦(運)ニ要スル經費支拂ノ爲第三艦隊臨時分任出

納官吏ヲ命ス(計四名海軍省經理局支出官)

## ○雜款

○旗艦變更

第一艦隊司令長官ハ本月二十一日第八戰隊司令官ノ旗艦ヲ長良ヨリ川内ニ變更セリ

○郵便物發送先

驅逐艦磯波宛 自今 神戸三菱造船所海軍監督官事務所氣付

特務艦鳴戸宛

自今

横濱船渠株式會社

○着任、退應

新任 海軍技術  
研究所長

前任 同

海軍少將 氏家 長明

海軍造兵中將 箕原 勉

同日退應

本五日着任

○事務引繼

在新京駐滿海軍部資金前渡官吏本月十九日事務引繼ヲ完了セリ

前任 資金前渡官吏海軍主計中佐 東 壽

後任 同 青木 寛治

豫備役海軍大佐正五位勳三等戸須賀千之本月二十  
二日卒去、本二十五日午後二時佐世保市太田町延  
壽寺ニ於テ葬儀執行

○正誤



本月二十一日辭令欄一八一頁二段土田喜久次、一一  
八三頁一段田川資造ノ辭令ハ孰モ行、同一一八四頁二  
段「東京軍港」ハ「東京軍法」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲金剛▲陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、▽鳳翔、

▽那珂、駒橋、春日、▽木曾、比叡

沖風、矢風、峯風、▽潮、隴、曙、▽夕暮、

▽松風、朝風、春風、旗風、▽天霧、朝霧

富士▲、尻矢、青島、膠州、洲崎

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】▽巖島

▽曉、漣、狹霧、▽汐風、夕風、島風、灘風、

▽響、雷、電

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、

呂五七、呂五九、▽伊二四、伊二三、

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四

▽掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】(鴨)

【横濱】(隼)

【浦賀】有明

(時雨)、(五月雨)

【館山】深風▲

▽波風、神風、野風、沼風

【大湊】大泊

▽矢矧、韓崎、日向▲、淺間、古鷹、最上、

三隈、淀、大鯨、伊勢、長門▲、扶桑、

神通▲、龍驤、▽青葉、衣笠、▽鬼怒、

▽長鯨、天龍、白鷹、大井

夕顔、▽藤、薄、葛、▽白雪、▽白雲、

薄雲、叢雲、▽浦波

▽呂一七、▽呂一八、▽呂一九、▽呂五一、

▽呂五三、▽呂六八、▽呂六三、▽呂六四、

▽呂二七、▽呂二八、▽呂三三、▽伊二一、

▽伊二二、▽伊五五、伊五三、伊五四、

▽伊五八、伊五七、伊五六、▽伊六九、

伊六八、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▽掃一六、

掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、問宮、朝日、室戸、野島

(伊七)

【大阪】加古▲

綾波、敷波

【神戸】磯波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【相生】東雲

(沖島)

【玉】吹雪

(掃一八)

【江田内】平戸

海軍公報 第二千六百二十二號 昭和十年十一月二十五日

一一九七

【舞鶴】

吾妻、多摩、夕霧、初雪

伊五二、呂二六

千鳥、初雁、真鶴、友鶴

【佐世保】

霧島、宇治、祖田、名取、足柄、能登呂、由良、赤坂、磐手、榛名、川内、長良、阿武隈、迅鯨、妙高、那智、加賀

北上、常磐、八重山

梨、竹、樞、桃、柳、檉、檜、菱、蕙、蓼、蓬、菊、月、三日、夕月、望月、朝風、夕風、子日、初春、睦月、如月、卯月、彌生、疾風、追風、長月、文月、水無月、皐月

逆、呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、呂六七、伊六一、伊六三、伊六四、伊六〇、伊五九、伊六三、伊六五、伊六六、伊六七、伊七〇

敷島、早瀬、隠戸

【長崎】

羽黒、初霜、若葉

【馬公】

夕張

羽風、太刀風、帆風、芙蓉、朝顔、刈萱

知床、檜、柿、葎

鎮海、旅順、青島

塘沽、青島

上海、南京下流

浦風、栗

南口、漢口、長沙、宜昌、重慶、廣東、廣府

羅府

海軍中

佐多

勝力

襟裳

秋風

伊六

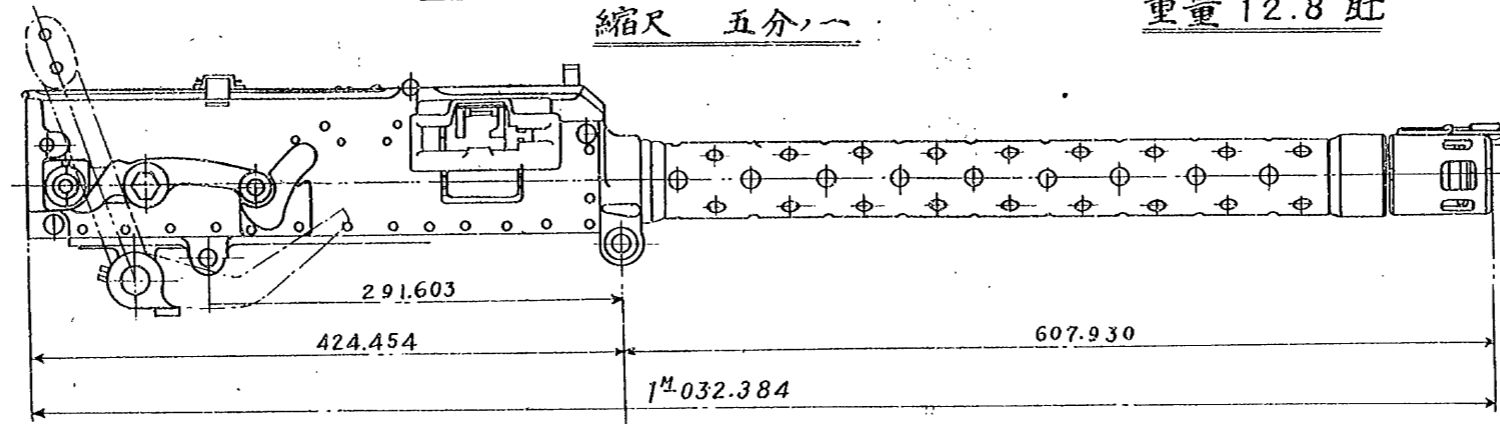
鳴戸

(部内限一頁、同別紙一葉)

毘式七糎七固定機銃 二型改一

縮尺 五分の一

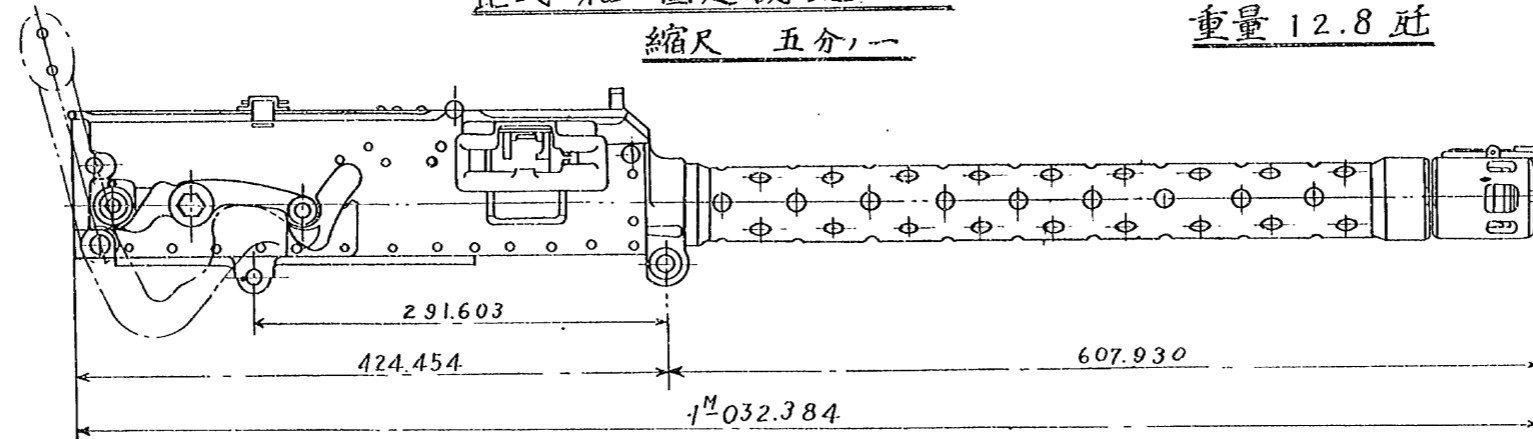
重量 12.8 斤



毘式七糎七固定機銃 二型

縮尺 五分の一

重量 12.8 斤



昭和十年十一月二十五日公報別圖

0715

# 海軍公報

第二千六百二十三號

昭和十年十二月二十六日(火)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍機關大佐 岩本 鼎  
學生銓衡委員ヲ命ス(武蔵海軍省)

## ○雜款

○旗艦指定  
佐世保防備戰隊司令官ハ本月二十二日旗艦ヲ常磐ニ指定セリ

○旗艦變更  
第八戰隊司令官ハ本月二十一日旗艦ヲ長良ヨリ川内ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更  
第十九驅逐隊司令ハ本月二十一日時綾波ヨリ浦波ニ、  
第二十七驅逐隊司令ハ同十六日菱ヨリ葦ニ司令驅逐艦ヲ孰モ變更セリ

## ○軍艦春日行動豫定

地名	着	發
横須賀	十二月二日	十一月三十日
吳	十二月五日	十二月五日
德山	十二月八日	十二月七日
佐世保	十二月八日	十二月十日
横須賀	十二月十三日	十二月十日

## ○郵便物發送先

軍艦春日宛	發送先
十二月二十九日迄ニ到達見込ノモノハ	横須賀
十二月四日迄ニ	吳
同日迄ニ	德山
同日迄ニ	佐世保
同日迄ニ	横須賀
其ノ後ハ	横須賀

## ○着任

新任 海軍航空本部 技衛部長 海軍少將 原 五郎 本月三日着任

## ○電話架設

海軍艦政本部第三部長 海軍少將 平岡 鑛宅

海軍公報 第二千六百二十三號 昭和十年十二月二十六日

一一九九



(在原區戸越町七八)  
在原 二九五一番

○宿所

海軍航空本部技術部長 海軍少將 原五郎 宅  
赤坂區青山南町六ノ一〇八 (電話青山 二〇四二番)

○海軍會計法規類集第十回改正加除紙昨二十五日配付  
了了セリ

(海軍省 經理局)

○事務取扱

本月二十二日ヨリ當分ノ間當隊事務ヲ敷島ニ於テ執務  
致候ニ付自今司令宛及隊關係書類ハ敷島宛發送相成度  
(第二十一 驅逐隊)

海軍大佐正五位勳四等宮武重敏昨二十五日卒去、  
明二十七日午后一時三十分舞鶴防備隊ニ於テ佛式  
ニヨリ海軍葬儀執行

○正誤

○

昨二十五日辭令欄下段七行目「驅逐艦遂」ハ「驅逐艦  
連」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十一月二十六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、金剛▲、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、高雄、摩耶、愛宕、神威、口山城、▽鳳翔、

▽那珂、駒橋、春日、▽木曾、比叡

沖風、矢風、峯風、▽潮、鷹、曙、▽夕暮、

▽松風、胡風、春風、旗風、▽天霧、朝霧

富士▲、尻矢、青島、膠州、洲埼

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】

▽巖島

▽曉、漣、狹霧、▽沙風、夕風、島風、灘風、

▽響、雷

呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、

呂五七、呂五九、▽伊二四、伊二三、

▽伊二、伊一、伊三、▽伊五、伊四

▽掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】

(鴨)

【横濱】

電

【浦賀】

有明

【館山】

(時雨)、(五月雨)

【大湊】

▽波風、野風、沼風、神風

【吳】

大泊

矢矧、韓崎、日向▲、淺間、古鷹、最上、

三隈、淀、大鯨、伊勢、長門▲、扶桑、

神通▲、龍驤、▽青葉、衣笠、▽鬼怒、

▽長鯨、天龍、白鷹、大井

夕顔、▽藤、薄、葛、▽白雪、▽白雲、

薄雲、叢雲、▽浦波

呂一七▲、呂一八▲、呂一九▲、呂五一▲、

呂五三▲、▽呂六八、呂六三、呂六四、

▽呂二七、呂二八、呂三三、▽伊二一、

伊二二、▽伊五五、伊五三、伊五四、

伊五八、伊五七、伊五六、▽伊六九、

伊六八、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃九、▽掃一六、

掃一五、掃一四、掃一三

石廊、攝津、間宮、朝日

(伊七)

加古▲

綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鵠)

磯波

(伊七二)、(伊七二)、(伊七三)

東雲

(沖島)

吹雪

【大 阪】

加古▲

綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鵠)

磯波

(伊七二)、(伊七二)、(伊七三)

東雲

(沖島)

吹雪

【江田内】 (掃一八)  
平戸  
吾妻、多摩  
夕霧、初雪

伊五三、呂二六  
千鳥、初雁、眞鶴、友鶴

【佐世保】

霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登呂、  
山良、赤城、磐手、樺名、川内、長良、  
阿武隈、迅鯨、妙高、那智、加賀、  
北上、常磐、八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、檜、菱、蕁、藜、蓬、  
菊月、三日月、夕月、望月、朝風、夕風、  
子日、初春、睦月、如月、卯月、彌生、  
疾風、追風、長月、文月、水無月、皐月、  
蓮

【長崎】

羽黒

呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、  
呂六六、呂六五、呂六七、伊六一、  
伊六二、伊六四、伊六〇、伊五九、  
伊六三、伊六五、伊六六、伊六七、  
伊七〇  
敷島、早瀬  
白露  
白霧

【馬公】 初霜、若葉  
夕張  
羽風、太刀風、帆風、芙蓉、朝顔、刈萱  
知床

【鎮海】 檜、柿、葎

【旅順】 萩、菊

【青島】 球磨

【上海】 若竹、早苗、吳竹  
出雲、保津

【南京下流】 安宅

【南京】 浦風、栗

【漢口】 梅

【宜昌】 勢多、鑿田、熱海

【重慶】 比良

【廣東】 二見

【航海中】 陸織

佐多 (十六日廣發 | 羅府へ)  
勝力 (十八日吳發 | パラオへ)  
襟裳 (二十日吳發 | タラカンへ)  
秋風 (二十三日横須賀發 | 馬公へ)  
伊六 (二十三日横須賀發 | 吳へ)  
鶴見 (二十四日羅府發 | ホノルルへ)  
室戸 (二十六日吳發 | 横須賀へ)  
野島 (二十六日佐世保發 | 吳へ)  
(二十六日吳發 | 佐世保へ)

(部内限二頁)

# 海軍公報

第二千六百二十四號

昭和十年十二月二十七日(火)

## 海軍大臣官房

### ○週牒

軍需表第四五號ノ四

昭和十年度被服物品代價表中左ノ通改正ス

昭和十年十一月二十七日

海軍省軍需局長

貸與品ノ部作業帽ノ次ニ左ノ如ク加フ

テラ 自動車作業手袋 組 一〇七二〇 一〇七二〇

同部患者股引ノ次ニ左ノ如ク加フ

フェ 在 監 人 股 引 一 個 二 三 〇 〇 二 三 〇 〇

(昭和十年四月二十四日公報號外参照)

### ○辭令

海軍大佐 丹羽 正躬

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

船岡 茂

吳海軍建築部土木業務囑託ヲ解キ海軍省建築局土木業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(以上ヲ以テ前海軍省)

### ○雜款

○司令驅逐艦變更

第六驅逐隊司令ハ昨二十六日司令驅逐艦ヲ響ヨリ雷ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第十二潜水隊司令ハ一昨二十五日伊號第六十九潜水艦ヨリ伊六十八潜水艦ニ、第十九潜水隊司令ハ本月二十日伊號第五十八潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ司令潜水艦ヲ孰モ變更セリ

○宿所並電話番號變更

海軍省電信課長 海軍大佐 宇垣完爾宅

海軍公報 第二千六百二十四號 昭和十年十二月二十七日

一一〇三

杉並區馬橋二丁目一六七  
電話中野 五五四五番

○事務所設置  
鴨艦裝員事務所ヲ東京市京橋區佃島石川島造船所構内  
ニ設置シ本月十九日ヨリ事務ヲ開始セリ

豫備役海軍大佐正五位勳三等齋藤忠次郎本月二十  
二日卒去、一昨二十五日神奈川縣三浦郡葉山町堀  
ノ内七六一自宅ニ於テ佛式ニ依リ葬儀執行セリ

海軍主計少尉候補生本山正美一昨二十五日死去、  
昨二十六日廣島縣佐伯郡小方村黒川四九二自宅ニ  
於テ葬儀執行セリ

○艦船所在  
相定ヲ要セズ

○十一月二十七日午前十時調

【横須賀】 對馬、金剛、陸奥、八雲、五十鈴、鳥海、

高雄、摩耶、愛宕、神威、山城、鳳翔、

那珂、駒橋、春日、木曾、比叡

沖風、矢風、峯風、潮、隴、曙、夕暮、

松風、朝風、春風、旗風、天霧、朝霧、

富士、尻矢、青島、膠州、洲埼

(鈴谷)、(劍埼)

【長浦】 嚴島

曙、漣、狹霧、沙風、夕風、島風、灘風、

雷

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

呂五七、呂五九、伊二四、伊二三、

伊二、伊一、伊三、伊五、伊四

掃六、掃五、掃三、掃一、掃二、掃四

【石川島】 鴨

電

鴨戸

【横濱】 鴨戸

【浦賀】 有明

(時雨)、(五月雨)

【館山】 澤風

波風、野風、沼風、神風

【大湊】 大泊

矢矧、韓崎、日向、淺間、古鷹、最上、

【吳】

三隈、淀、大鯨、伊勢、長門、扶桑、

神通、龍巖、青葉、衣笠、鬼怒、

長瀨、天龍、白鷹、大井

夕顔、藤、薄、葛、白雪、白雲、

薄雲、叢雲、浦波

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、

呂五三、呂六八、呂六三、呂六四、

呂二七、呂二八、呂三三、伊二一、

伊二三、伊五五、伊五三、伊五四、

伊五七、伊五八、伊五六、伊六八、

伊六九、伊五一

掃七、掃八、掃一〇、掃一六、掃一五、

掃一四、掃二三

石廊、攝津、間宮、朝日

(伊七)

【大阪】 加古

綾波、敷波

(村雨)、(掃一七)、(鶴)

【神戸】 磯波

伊七一、(伊七二)、(伊七三)

【相生】 東雲

(沖島)

【玉】 吹雪

(掃一八)

【江田内】 平戸

吾妻、多摩

【舞鶴】 夕霧、初雪

海軍公報 第二千六百二十四號 昭和十年十一月二十七日

一一〇五

伊五二、呂二六  
 千島、初雁、翼鶴、友鶴  
 (春雨)、(鴻)  
 霧島、宇治、龍田、名取、足柄、能登呂、  
 由良、赤城、磐手、▽榛名、▽川内、長良、  
 阿武隈、▽迅鯨、▽妙高、那智、▽北上、  
 常磐、八重山  
 梨、竹、榎、桃、柳、櫻、檜、菱、菫、蓼、蓬、  
 菊月、三日月、夕月、望月、▽朝風、夕風、  
 子日、初春、▽曉月、如月、卯月、彌生、  
 疾風、遑風、▽長月、文月、水無月  
 呂二五、呂二九、呂三〇、呂三一、  
 呂三二、▽呂六〇、呂六一、呂六二、  
 呂六六、呂六五、呂六七、▽伊六一、  
 伊六二、伊六四、▽伊六〇、伊五九、  
 伊六三、伊六五、伊六六、伊六七、伊七〇  
 敷島、早鞆  
 (白露)  
 長崎 羽黒、若葉  
 初霜、若葉  
 馬公 夕張  
 羽風、太刀風、帆風、朝顔  
 知床  
 鎮海 檜、柿、葎  
 秦皇島 葵、菊  
 塘沽 萩

青島 破磨  
 上海 若竹、早苗、吳竹  
 南京 浦風、栗  
 漢口 比良  
 長沙 鳥羽  
 宜昌 比良  
 重慶 二見  
 廣東 二見  
 航海中 二見  
 佐多 (十六日廣發一羅府へ)  
 撈力 (十八日吳發一「バラオ」へ)  
 襟裳 (二十日吳發一「タラカン」へ)  
 秋風 (二十三日橫須賀發一馬公へ)  
 伊六 (二十四日橫須賀發一吳へ)  
 鶴見 (二十四日羅府發一「ホノル」へ)  
 加賀 皇月 (二十六日佐世保發一作業地へ)  
 逆 (二十六日佐世保發一上海へ)  
 響 (二十六日橫須賀發一舞鶴へ)  
 芙蓉 (二十六日馬公發一油頭へ)  
 劉董 (二十六日馬公發一馬尾へ)  
 室戶 (二十六日吳發一佐伯へ)  
 野島 (二十六日吳發一橫須賀へ)  
 野島 (二十六日佐世保發一吳へ)  
 野島 (二十六日吳發一佐世保へ)

(部内限二頁)